

各御家庭での「藍」の育て方・葉の収穫について

北海道伊達高等養護学校

この度は、本校の「藍で繋がる伊達愛プロジェクト」に関心をおもちいただき、本当にありがとうございます。簡単ではございますが、各御家庭での「藍」の育て方や、葉の収穫のポイントについてまとめました。お目通しいただきましたら幸いです。

■ 「藍」って、何？

- ・本校で扱っているのは「タデアイ（タデ科イヌアイ属）」です。
- ・発酵工程や化学薬品を用いることで、「インディゴ」という染料が取れます。
- ・ミネラル等が豊富で、食品や各種製品の原料などでも使用されます。
- ・病害虫に強い植物です。

■ 「藍」の育て方 （※本校でお配りしている、ポット入りの苗からの育て方です）

- ①プランターや鉢、畑等に植え替えます（土は、市販の園芸用土や黒土など御準備ください）。
 - ・根が土から出ず、また、あまり深植えしない状態で植えます。
 - ・植えたら、強めに地面を押してください（本校では畑に植えた後、足で軽く踏んでいます）。
 - ・最後に、水を多めにあげてください。
- ②管理は、日当たりのよい場所で、土の表面が乾いたらたっぷりと水を（できれば朝に）あげてください。
 - ・藍は日光と水を好みますので、特に晴れて高温の日は、朝と夕の2回、水をあげてください。
- ③植えて3週間～1か月たったら、肥料をやってください。
 - ・肥料は、有機・化成・混合のどれでも結構です。
 - ・おすすめは「液肥」です。その場合は、2週間に1～2回程度あげてください。
 - ・固形肥料の場合は、ごく少量、株の周りにあげます。回数等はその肥料の用法に従ってください。
- ④「つぼみができた頃」または「開花する前」に、葉を収穫します。
 - ・時期の目安としては、8月～10月頃です（生育の状態で、前後します）。
 - ・染料となるのは葉の部分です。
 - ・茎または根から収穫しても構いません。
 - ・茎からの場合、株元から10cm程度の所で刈ると、次の収穫も見込めます。
- ⑤葉を乾燥させます。
 - ・新聞紙の上に置くなどして乾かします。
 - ・天気の良いときは、外で天日干しをすると、早く乾き、藍の色つきが良くなります。
 - ・茎または根から収穫した場合は、ハンガーや物干しなどにつるして乾燥させても構いません。
- ⑥ある程度乾燥したら、本校にお持ちください。
 - ・まずは本校に御連絡ください（Tel・Fax：0142-25-5115（学校代表））

葉の収穫・本校への納品に御協力いただけましたら、誠にささやかながら本校の各学科の生産品を返礼品としてお渡しいたします。

（※生産品につきましては、こちらで準備したものとなります。あしからず御了承ください。）

北海道伊達高等養護学校
〒052-0012 伊達市松ヶ枝町 105-13
Tel・Fax：0142-25-5115（学校代表）
担当：橋本・林・鷹尾